

遅めの10時出発

ランチは美術館内のカフェレストラン オー・ミラドーで!!

## 熱海で過ごす早春の一日～熱海梅園とMOA美術館

**MOA美術館** 相模灘を見渡す高台に建つ「海が見える美術館」です。国宝3点をはじめ、東洋美術（日本・中国）を中心に絵画、書跡、工芸などの名作が3500点余点収蔵されており、所蔵品の展示室の他に、秀吉ゆかりの「黄金の茶室」（復元）や「能楽堂」もごぞいます。また敷地内には、茶の庭の「一白庵」、尾形光琳の屋敷を復元した「光琳屋敷」、「樵亭」、「唐門」、「片桐門」など、見どころ満載です。



美術館全景(★)

**リニューアル** 1982年に熱海に開館したMOA美術館が、昨年(2017年)リニューアルオープン。「創立者・岡田茂吉の願いを継承した美術館」「伝統と現代を融合したデザイン」「素材の見立てによる空間の創造」の3つのコンセプトに基づいて現代美術作家・杉本博司と建築家・榊田倫之が主宰する「新素材研究所」の設計・監修で大きく生まれ変わりました。

**熱海梅園** 明治19(1886)年に開園。温暖な気候も相まって毎年11月下旬から12月上旬には梅の花が開花。年が明けて1月中旬には見頃を迎える「日本一早咲きの梅の里」です。



早咲きの梅が楽しめる熱海梅園(イメージ)

カフェレストラン  
オー・ミラドー

日本のビストロブームを巻き起こし、レストラン業界が郊外へ目を向けていなかった時代に日本初のオーベルジュを箱根に開業した「オーベルジュ・オー・ミラドー」の伝説のシェフ、勝又登氏監修のカフェレストランです。伝統的なフレンチの手法で、豊かな自然の育む食材やMOA自然農法ファームの食材を用いた匠の技と体に優しい健康的な料理が楽しめます。



オー・ミラドーのお料理例

## Menu

前菜、磯料理又は肉料理チョイス、デザート、パン、コーヒーまたは紅茶



MOA美術館より相模灘を臨む(★)

旅行期間	2018年2月20日(火)・23日(金)	
旅行代金	15,000円	募集人員 24名様(最少催行人員15名様)

10:00東京駅発⇒(首都高速・東名高速・小田原厚木道路)⇒12:15～13:00熱海梅園  
⇒13:15～16:45MOA美術館(館内カフェレストラン オー・ミラドーでランチ後、  
名品展覧)⇒(小田原厚木道路・東名高速・首都高速)⇒18:30～19:00東京駅着

■添乗員/同行してお世話します。 ■食事/昼食1回  
■集合場所・時間/東京駅丸の内口・丸ビル前・午前9時50分  
■交通機関/中型貸切バス(予定運行会社/東京ヤサカ観光等)  
★の写真: Masaki Ogawa/Courtesy of MOA Museum of Art